

別記様式（第4条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	第3回 宍粟市参画と協働のまちづくり指針策定委員会	
開 催 日 時	令和4年9月22日（木）14:00～16:00	
開 催 場 所	一宮市民協働センター1階ホール	
議長（委員長・会長） 氏 名	委員長 作野広和	
委 員 氏 名	(出席者) 作野広和・野村和男・木村栄治・ 小林晋八・田住学・猪尾公子・加 治瑞穂・太田卓・柏木登起	(欠席者) 田中祥仁
事 務 氏 名	一宮市民局：田路局長・西岡副局長 波賀市民局：大田局長・榎木副局長（WEB） 千種市民局：井口局長・木原副局長（WEB） 市民生活部：森本部長・山本次長 まちづくり推進課：中尾次長兼課長・福田副課長兼係長・藤多主査 人権推進課：西田次長	
傍 聴 人 数	2人	
会議の公開・非公開の 区分及び非公開の 理 由	公開・非公開	(非公開の理由)
決 定 事 項	(議題及び決定事項) ・地域運営組織についての理解 ・地域運営組織の機能・役割について ・地域運営組織と自治会組織の関係 ・地域運営組織における自治会の位置づけについて ・次回日程：令和4年10月12日	
会 議 経 過	別紙のとおり	
会 議 資 料 等	別紙のとおり	
議 事 録 の 確 認 (記名押印)	(委員長等) _____ 作野 広和 _____ ㊞	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
事務局	※開会
事務局	それでは、ここからの進行は作野委員長にお願いします。
委員長	本日は、はじめに協議事項3 (1) ~ (3) について確認を行い、最後に全体的な討論を行う。 それでは (1) 近隣市町の地域運営組織について事務局より説明をお願いします。
事務局	※ (1) 近隣市町の地域運営組織について説明
委員長	昨年度の暫定版指針において、宍粟市では地域運営組織を作る方が良いのではという一応の方針を出している。それを個々の地区でどのように落とし込むかを今年度は検討している。そのなかで、今回の目標は地域運営組織を正しく理解することとしたい。地域運営組織の形は各市町でそれぞれで、名称も地域運営組織というのは一般名称で、豊岡市では地域コミュニティ組織、加西市ではふるさと創造会議と様々である。豊岡市や加西市は最近になって地域運営組織ができた。佐用町は合併直後に地域運営組織を作っていたが、地域に浸透しないまま始めたので、「みん活」として再スタートの取組みをされている。宍粟市では、宍粟市型の地域運営組織を導入していこうというところ。 意見等あるか。
委員	地域運営組織内での自治会の関わり方はどのようになるか。自治会組織は残るのか。
委員長	事例で見ると、豊岡市では地域コミュニティ組織（地域運営組織）と区長会（連合自治会）とが強く関わっている形である。 加西市ではふるさと創造会議（地域運営組織）と地区区長会（連合自治会）や単位自治会が相互に連携、参画、補完する形である。 佐用町はどちらかと言えば豊岡市と同じような形である。 地域によってそれぞれであるが、この3つの事例では自治会組織が完全に独立している組織はほとんどない。
委員	個々の自治会にも役はあるのか。
委員長	個々の自治会内にも福祉委員等の役はあるが、宍粟市の場合はその数がかなり

	<p>多い。地域運営組織がその役を包括している自治体もあり、そこでは単位自治会には単位自治会の役割があつて、その場合は、地区に連合自治会のような組織はなく、地域運営組織がその役割を担っている。</p>
委員	<p>豊岡市の例がイメージしやすいと思う。地域運営組織を作る方が良いというのは、これまでのように充て職で活動に参画してもらうのではなく、この指とまれ方式でやりたい人がやりたいことに関わる仕組みを作ること。例えば防災に関心ある人が防災のことに、広報が得意な人が広報のことに関われる仕組みをどのように作れるかが前提に考えられている。</p> <p>通常、連合自治会は自治会長の集まりなので、自治会長は個々の自治会の活動で大変ななか、連合自治会でも福祉や防災のことをもっとやっていくのは難しい。自治会長は自治会の活動に専念した方が良いというのがどの地域でもあり、豊岡市の例では区長会を置いている。自治会長が集まって自治会長同士で自治会のことを話す場も必要なため、それを区長会に充てている。</p> <p>一方で、福祉や防災の活動は充実させていく必要もあつて、そこに充て職ではなく、興味のあるところに関わってもらう人たちをどのように作っていくかが地域運営組織の仕組みで考えられるところになる。</p>
委員長	<p>今は宍粟市でどうかというよりは、地域運営組織とはどういう仕組みになっているか。自治体によって仕組みがそれぞれあることを理解してもらえればと思う。他に意見等あるか。</p>
委員	<p>豊岡市の地域運営組織の図を参考に見ると、波賀町では連合自治会というのは行政を除いて一番上の組織として浸透しているが、この図では組織の一団体のようになると思われる。その切り替えを住民の方々ができるのかと思う。</p>
委員長	<p>豊岡市の図では、地域運営組織をベースにみるとそのように見えるが、実際には波賀町と同じような仕組みであつて、連合自治会は連合自治会としてある。質問の意図は、地域運営組織と連合自治会のどちらが上かということか。</p>
委員	<p>そうではなく住民の意識の話。住民は、連合自治会が一番上にあるという意識がある。</p>
委員	<p>例えば千種では、千種まちづくり推進委員会と連合自治会がある。もともと千種まち推を New まち推にしようというコンセプトで進みだした。まち推でアンケート調査を基にした動きが出てきて、組織づくりについて話し合う中で、今のまち推の組織の見直しやいくつかのプロジェクトが組織の中で位置づけられ</p>

	ていけば、New まち推になり、それが地域運営組織になると思う。千種では連合自治会とまち推の間に上下の関係はあまりないように感じる。自治会の連合体が連合自治会であるというくらいの位置づけだと思う。
委員	私自身が意識している訳ではないが、住民は意識すると思う。
委員長	その考えは、多くの住民が思われることだと思う。
委員	先日波賀で開催した地域再生アドバイザーによる講演会の感想文がたくさん寄せられたが、自治会長が怒りそうな内容も多く、中には自身の自治会そのものが悪いような言い方をされている内容もあって、ショックを受けている。意識の切り替えということについては、波風が立つのではないかと思う。
委員長	この場で委員のみなさんは冷静な議論が出来ているが、地区や自治会に話が降りていくと、私の予想では98%くらいは理解されないと思う。宍粟市全体としては、地域の将来のために今改革すべきではないかというのが大前提で、委員のみなさんは議論を重ね、資料を見ることで理解を進められる。しかし、委員のおっしゃった感想文の内容のようなことはこれから山ほど出てくるので、しっかりとここで議論したい。いろんな意見があって良いと思うので、幅広く意見を出してもらいたい。
委員	千種は、連合自治会は行政と一体となって地域の課題に取り組んでいる組織であり、住民の信頼や期待も大きい。一方で、千種まち推のような組織というのは、型にはまらず自由度が高く、連合自治会を補完するものだと思う。連合自治会のように充て職ではできない、地域の方々の本当の要望に対応する主体的なところがあり、柔軟度があって、いろいろなところに応えていける。最終的には、人口減少するなかで、自分たちの地域のことは自分たちの手でやっていく。自分たちでやれば自分たちの責任なので、完結しなくても納得できる。そのような組織をいかに育てていけるか。どのようにそこに持っていくか悩んでいるところではあるが、時間がかかっても、やっていかないといけない時期がいずれ来ると思う。千種の場合は、活動を住民に知らせていきながら実績を作ろうとしている。
副委員長	自治会組織は世帯主が中心の組織であり、女性や若者の声を反映しづらいので、地域運営組織のような組織でそういった声を行政に相互に投げかけられるような組織があればと思う。自治会としては、自治会だけではやりづらい身近な問題にも取り組みたいが、中には上部団体の会議などに出て行ったり、役員にな

	<p>ることは難しいという人もいるため、強制的ではなく、関心がある人が集まれる場所があつて、解決していけるというような方向性ができれば良いのではないかと思う。連合自治会と地域運営組織が、お互いに両方あつたら良いが、どのような方法でできるのかまではまだ分からないところである。</p>
委員長	<p>副委員長のおっしゃる通りであり、同感である。</p> <p>続いて(2)縦割り化した各種機能の調整・整理について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>※(2)縦割り化した各種機能の調整・整理について説明</p>
委員長	<p>ここからは、昨年度整理した暫定版指針の項目に従って検討を行っていくが、今回の協議で内容が確定する訳ではないので、協議の中で宍粟市としての論点を深めていきたい。一つ論点を上げると、資料に自治会の問題とあるが、自治会の問題というよりは自治会長の問題である。充て職が多いことがポイントだと思う。意見等あるか。</p>
委員	<p>自治会長が上部組織の会議に出る負担は当然あるが、自治会内での役割決めも宍粟市の場合は他の地域と比べると多いという印象。毎年同じ人が役をしていたりする。</p>
委員長	<p>地元の方や行政の方からすると、このように役が多い状態について、こういうものだと思っているか。</p>
委員	<p>ここで生まれ育ってきたので、これが当たり前のように思っている。</p>
副委員長	<p>私のいる自治会は小さな自治会ではあるが、役がある方が動きやすいというものもある。</p>
委員	<p>今回の指針策定がどこを目指すのか、今の話なのか、将来に向けての話なのかを明確にした方が良いと思う。例えば、2030年になったときに今の役や自治会の活動がそのまま維持できるのか。最近、「縮充」といって、縮小しても充実させるといった考え方になっている。千種のまち推でも、人口が減っても今の地域で楽しく生きていくことが一つの共通目標になっている。「縮充」という表現が良いか分からないが何らかの共通認識が必要だと思う。</p> <p>今現在成り立っているところは良いが、先を見通したとき、今見直すべき役は見直しても良いのではないかという前向きさがあつても良い。今のことに目が</p>

	<p>向きがちだが、指針として考えると、数年先が大丈夫かどうかの視点が必要だと感じる。</p>
委員長	<p>今の意見は、大きく分けると2点あると思う。1つはどれくらいの期間を見通して、指針としてどう見通すかということ。実際のオペレーションは直近のことではある。もう一つは未来の姿をどう描くかということ。指針をつくるなかでそこまでしていくべきかどうか。</p>
委員	<p>10年先どうなるのかについて、ある資料では、波賀町で0歳児が7人しかいない。防災面でも、消防団で活動するような男性の生産年齢人口が、10年先には半分になる。そのあたりも見据えた指針にしてほしいと思う。</p>
委員長	<p>ある程度設定年代、完成年を決めて、目標を立て、そのときまでのギャップをどう埋めていくというのが多いやり方で、指針としてある程度数年先どうなっているかは考える必要があると思う。一方で、本質的に将来像を描くのは難しい面もあり、直感的に思うのは、宍粟市はこの指針を作り、いろいろ動いて一巡くらいしてから、3～4年先にそういう議論を本格的にすると充実すると思う。ここではある程度将来を想定しておくが、まずは現状の見直しが必要であると思う。</p> <p>ここで論点を示すために事務局へ質問したいが、生推協にあるような役というのは、減らせるものなのか。地域側は行政から頼まれて仕方なくやっている面もあって負担感にもつながると思うが、こういう役そのものをどのように位置づけるのか。役なのか機能なのか。</p>
事務局	<p>先日も繁盛地区連合自治会長会に参加したが、繁盛にある10世帯ほどの小さな自治会では高齢化で役を担うのが難しくなっている。将来を見通した検討が難しく、今の活動を維持できないという声がある。代替案として、地域運営組織の話をしたが、今の自治会と地域運営組織をどのように分担するのかの議論が進まなかった。また、地域運営組織の活動が新たな負担感になるとの声が出てくる。市から地域に役を出してもらうようお願いしているが、役が市、町、地区と構造的になっているため、指針策定とともに事情を汲みながら組織を変えていく必要はあると考える。指針が完成すれば、地域の声を聞きながら、市内部の組織体制の見直しも必要だと思う。どのような形が良いかは今、答えられないが、地域の声をよく聞いて、行政として責任ある対応をする必要があると思う。</p>
委員長	<p>繁盛の状況について意見等あるか。</p>

委員	事務局からあったとおり、繁盛地区連合自治会長会で地域運営組織について提案したが、今ある連合自治会に負担が上乘せされるのではないかと誤解されてしまった。また、このような話を進めていくうえで、誰がイニシアチブを取って話を進めていくべきかということも思った。今のぎりぎりの状態では地域運営組織の取組みが良いと思ったとしても、そこまでの労力はかけたくないと言われる自治会長もいらっしゃる。
委員長	こういう話を進めていくとイニシアチブの話が出てくる。1つは、組織を構築していくうえで誰がリードするかという話。これは地区自治会の会長がやられることが多い。また、正式に組織が成立したときに誰が一番上に立つのかは地域の人にとっては関心事になる。年齢が上の人ほどそのことが重要になることがある。 続いて(3)地域運営組織が担う役割について、事務局より説明をお願いします。
事務局	※(3)地域運営組織が担う役割について説明
委員長	資料4ページ目の地域運営組織の基本的な役割について、1つ目の「地域課題の解決や地域資源の活用について話し合い、実行すること」はどのような組織体でも理解されると思うが、2つ目の「若者や女性など多様な主体が参加でき、やりたいことに取り組める場づくり」は重要であるものの、地域としては理解されにくい。このあたりをどのような戦略で進めていくかが重要だと思う。事務局から補足はあるか。
事務局	これまで自治会が地域の運営を担ってきた経緯から、地区自治会長と話をするのが、若者や女性の参加の話をするとうとうしっくり来ない。今まで通りで良いのではという声が多い印象を受ける。しかし、世帯主中心の活動では限界を感じるどころであり、多くの活動に参画するうえで、いろいろな担い手を入れていくことが必要との思いから2つ目の役割を挙げている。
委員長	非常に重要な論点であると思う。委員の方で、住民として地域における女性の発言はどうか。また、自治会の中での女性の位置づけはどうか。
委員	自治会長が若者だと頼りなく感じるかもしれないが、そこを支えるには、若者や女性の視点が大切だと感じる。今、千種まち推ではそういった組織を立ち上げる基になるサークル活動を始めようと広報しているところで、女性だけでなく男性の料理教室や若いお父さんも入るようなグループが作れないかと案を出

<p>委員長</p>	<p>している。何かしらやっていかないと前には進まないの、そういう知恵を借してもらえる方に集まってもらえたらと思う。</p>
<p>副委員長</p>	<p>千種では着実に進められているようだが、他の地域ではどうか。</p> <p>山崎地区の自治会には昔、婦人会という組織があったが、上部組織との関係が負担になり廃止された。しかし、女性の声を反映させることは必要だと考え、各自治会から女性を1人出してもらって構成する女性部を作り、ここ10年程取り組んできている。しかし、各自治会から女性の代表を選ぶのが難しく、順番やジャンケンで決めているが、それだと忙しい人に役があたることもあり、このところ問題になっている。</p> <p>また、女性ならではの意見を地区自治会に出してもらいたいが、みんな出るのを嫌がられて、コロナで活動が減ったこともあり、女性部がなぜこんなことをしないとイケないのかという声が出ている。女性部には食用油のリサイクル活動や清掃、敬老会のお世話などをしてもらってきたが、女性の立場としての子育ての課題のような声は出ていない。上から押し付けられて役をしていて、女性部を廃止してほしいとの声も出ていて、本来の趣旨とは違ってきている。この指とまれ方式のように若者や女性に出てもらい、主体的にできる意識の強い人に出てもらわないと組織として成り立たないと痛切に感じており、今後の協議で考えていかなければならない。</p>
<p>委員長</p>	<p>自治会なりに考えられたことだと思うが、充て職的になると声が吸い上がらない。</p> <p>前半の議論で地域運営組織の存在意義や対応可能な部分が見えてきた。実際に宍粟市でどのようにしていくかというのが後半の議論になる。</p> <p>別の切り口として4つの重要な役割において地域福祉の取組みがあるか、意見等あるか。</p>
<p>委員</p>	<p>福祉委員の役割について、隣保長の方など、役職が重複するところもあるが、隣保長の方にお問い合わせすると、地域からの声が早く上がってきやすくなったと思う。見守りだけでなく、地域全体のことも見ておられるのでその点は良いところである。</p> <p>地域の取組みとしては、波賀町では女性の取組みが多いので、ボランティアで配食の取組みをされたり、他にもいろいろと活動があったりして、それは地域運営組織の基になるところかと思う。繁盛地区でも自分の趣味や得意なことを活かした活動をされている方や送迎のボランティアをされている方など、地区で頑張っている方もたくさんいらっしゃるの、そういう方々が地域を担う存</p>

	<p>在になると思う。</p>
委員長	<p>いろいろな負担が自治会から選出される役員に偏っている。地域の合意を得たうえで、地域の活動を補完する組織が地域運営組織である。ここまでで地域運営組織を作ることについての理解はされてきたと思う。</p> <p>ここで論点を上げると、宍粟市としてどのように地域運営組織を立ち上げていくか。どのようなスタイルにしていくかが一番の論点である。次回以降の議論となるが、今回もう少し深めていきたいと思う。それでは、事務局より追加資料の説明をお願いします。</p>
事務局	<p>※追加資料（暫定版指針9～10ページ抜粋）について説明</p>
委員長	<p>暫定版指針で地域運営組織と単位自治会の関係を示す図があるが、地域運営組織を作ること、自治会の活動を補完し、自治会の負担が減るということを示している。それぞれ組織の性格は異なるが、同じ空間にあることを示している。それから、完成した地域運営組織と地区自治会との関係が4つのパターンで示されている。パターンとしてはこれ以外にもあり得る。補足すると、実際は、現行の体制から図に示す完成形へ移行するパターンというのがあると思うが、一旦、この資料をベースに議論したい。意見等あるか。</p>
委員	<p>例として4パターン示されているが、それぞれの形になっていくまでにその地域の体制がどのパターンに適しているのかといった地域ごとの適性のようなものがあると思うがどうか。</p>
委員長	<p>一番わかりやすい②の代議員型というのは実行機能と協議機能を分けていて、協議機能部分に自治会長や各自治会からの複数の代議員で意思決定をしようとするもの。このパターンは、どちらかというと都市型で、自治会数が多い地域のパターンになる。</p> <p>①の組織参画型は自治会の力が強い地域ではこの形になりがちである。地区自治会と地域運営組織がほぼ同じで、地区自治会の役員会が地域運営組織の役員会になっているところもあるが、それは極端な例で、地区自治会の意思を反映するような地域である農村に多いパターンである。</p> <p>③の地区自治会組織構成型は少し進歩した形で、既存の地区自治会が一つの部を構成しており、地区自治会の会長は地域運営組織の会長より下になるため、このことを良く思わない地域であると、このパターンにはならない。島根県ではこのパターンが多い。</p> <p>④の独立型はいろいろなパターンがある。地域運営組織と地区自治会が上手に</p>

	<p>役割分担をしているところもあれば、両者の関係が薄くそれぞれが独立しているところもある。連携の度合いがミソである。</p>
委員	<p>これらのパターンは、小学校区単位で行っているのか。</p>
委員長	<p>小学校区単位が絶対ではないが、そういうところが多いというだけである。</p>
委員	<p>高齢化や人口減少するなかで自治会でも役はあるが、この図を見ると役は自治会でも地域運営組織でもあって、役ばかりがあるように思える。</p>
委員	<p>そもそも、この図の組織は充て職で成り立つ形ではない。やりたい人たちで部会をどのように構成するかのプロセスがとても大事である。千種が比較的進みつつあるのは、ええとこ未来会議には関心のある方に来ていただいて、それぞれ関心のあるテーマに入ってもらって、やりたい人達で活動が構成されて、チームが動き出していることにある。</p> <p>ただし、その前には、アンケート調査を実施して、やりたい人がいるという発見をするなどの人材の掘り起こしが大切になる。ここで掘り起こしの体験をしていないまま先に組織を作ろうとすると、人が見えないので充て職で構成しようとしてしまう。まずはこれだけやりたい人がいるということを知り、そういう人たちが関われる機会を作っていくことが重要である。繁盛は連合自治会を中心に議論をしているため、そのような機会を持たずに組織のありようを話しているの、充て職でという発想になる。いかに地域のなかの個人がやりたいテーマに関われるようにするか、そのプロセスをどのように丁寧に練ることができるかだと思う。</p>
委員	<p>新たな組織をつくっていこうとする意義や必要性を含めて、必要以上に皆に知らせていく機会を増やすことが必要だと思う。知らせたうえで、そこに一人でも二人でも入って実感してもらおうと広がっていく。声を掛けて入ってもらうこともいづらか必要だが、最終的には実感してもらおう。地域の課題として実感できれば、やりがいや必要性を感じられると思う。そのための仕掛けを丁寧にやっていけるかだと思う。</p> <p>また、自治会にも必要な機能があり、緊急時すぐに対応できる。役を持つと、それなりに責任感を持つ。ここに地域運営組織と自治会との接点ができるが良いが、両者の理解や地域住民への啓発は丁寧な段階が必要で、やりながら作っていくということしかないと思う。</p>
委員長	<p>地域運営組織を作るとすれば、この指とまれ方式がポイントとなる。そうは言</p>

	<p>ってもすぐに上手くはいかないので、やりながら進めていく。多くの住民が懸念するのは地域に自治会系の地縁型組織と地域運営組織の両方があることへの理解や違和感、あるいは理解はするがこの指とまれ方式が自由に動いて良いのかというようなことを感じられることが、兵庫県内では多い。そこが次回への大きな論点となる。</p>
委員	<p>あと一つ、地域運営組織が活動するにあたって事務局的な機能がしっかりしている必要があり、それに伴う経費が担保されていくことが大事であると思う。</p>
委員長	<p>それらのことも次回以降の議論となる。この図でも事務局は必ず入っている。事務局は機能しないといけない。それからもう一ついえば、場、空間が必要である。宍粟市の場合、生涯学習に熱心であるのに、公民館がないというのは非常に珍しい。ここは宍粟市なりの対応が必要かと思う。</p> <p>最後に一つ提案させていただきたい。自治会があるなかで地域運営組織を作るときに純粋なこの指とまれはなかなか難しいので、宍粟市の場合、3つくらいの移行パターンがあるのではないかと思っていて、あえて提案したい。</p> <p>一つ目はハイパー地区自治会型。今の地区自治会を残すか、発展的にもっと多機能にして地域運営組織を作るパターンとなる。</p> <p>二つ目は生推協発展型。生推協はかなり地域運営組織の形態であり、生涯学習の名でいろいろな活動をやっとうまく機能しているので、事務局の問題はあるが、落としどころがあると思う。</p> <p>三つめは純粋なこの指とまれ型。これは千種型と言えるかもしれない。</p> <p>これらはいくまで構築していくためのプロセスのパターンである。今日の例で言えば豊岡市も佐用町も公民館組織があったので、このようなところでは地域運営組織を作るのをイメージしやすいが、宍粟市では公民館組織がないため、いろいろな工夫は必要だと思う。今回の議論は一旦ここまでとしたい。</p> <p>それでは(4) 次回日程について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>次回日程は、10月12日(水)14時から、波賀市民局での開催となる。</p>
副委員長	<p>※閉会あいさつ</p>

言者の表記は、「〇〇委員長」、「〇〇委員」、「事務局」とする。